

ながさか た おお ⑱ 長坂にそびえ立つ大イヌグス



ながさか おお みき めーとる たか
長坂の大イヌグスは、幹まわりが6.9 m、高さが12
めーとる すいていじゅれい ねん ちじょう めーとる
mもあり、推定樹齢は500年です。地上2 mのあた
りからえだ ほん わ しほう えだ は きよぼく
枝が18本に分かれ、四方に枝を張った巨木で、
とやまけんてんねんきねんぶつ してい
富山県天然記念物に指定されています。

き すわ だいじん まつ がつ にち すわ
この木は諏訪の大神として祭られ、8月27日は諏訪
まつり かいさい
祭が開催されます。

このイヌグスの和名は「タブノキ」です。

えっちゅう こくしゅ おおとものやかもち よ いそ うえ つま
越中の国守であった大伴家持が詠んだ「磯の上の都万

ま み ね としふか かむ うた
麻を見れば根をはえて年深からし神さびにけり」という歌

つ ま ま
の「都万麻」も、イヌグスのことであるといわれています。

しょうわ ねん ひ み し じゅもく
ツママは、昭和50年（1975）に、氷見市の樹木に

せいてい
制定されました。

なだらしょうがっこう ねんせい ことし おお まえ
灘浦小学校の6年生は、今年、この大イヌグスの前の

はたけ なえ う いもほ たいけん
畑で、サツマイモの苗植えと芋掘りの体験をしました。